

各関係機関団体の長 } 殿
各病害虫防除員

福岡県病害虫防除所長

平成23年度病害虫発生予察速報第3号について

速報第3号

9月1日に病害虫発生予報第6号を発表したところですが、9月2半旬の調査でヒノキ球果での口針鞘数が増加しており、9月中旬頃に飛来が予想されます。また、地域差はありますが8月後半から予察灯での誘殺数が増加傾向にあり、カメムシによる被害が出始めています。

果樹園への飛来状況に注意し、早期発見による適期防除を行ってください。

1 作物名 果樹全般（カキ、カンキツ等）

2 病害虫名 チャバネアオカメムシ

3 速報の内容

(1) 果樹園への主な飛来時期 9月中旬頃

(2) 果樹園への飛来量 前年、H20年(越冬量が類似している年)並

4 速報の根拠

(1) 県下6か所（飯塚市、筑紫野市、うきは市、久留米市、朝倉市、八女市）の予察灯における8月1半旬～8月6半旬の合計誘殺数は8,614頭で前年、H20年並みであった。

（前年 10,362頭、H20年 10,140頭）（図1）

(2) ヒノキ1球果当たりの平均口針鞘数が25本を超えると、ヒノキから離脱するとされている。県下28か所における9月2半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査結果は、1果当たり県内平均16.9本であった。（前年19.4本 H20 17.1本）（表1）

*筑後支所管内は、離脱する目安とされる25本を超えている地点がすでに1/3となっている。

*本所管内は口針鞘数にやや地域差が認められるものの、平均17.5本になっており8月5半旬（7.6本）に比べて2.3倍と急増している。

*行橋支所管内の口針鞘数は11.6本と少ないが、地域によっては、20本を越えている。

(3) 県下28か所における、9月2半旬のピーティング調査の結果、チャバネアオカメムシの1地当たりの虫数は19.2頭で前年、平成20年より多かった。（前年4.1頭、H20年12.8頭）（表1）

また、県内の主要齢期は成虫と5齢幼虫の合計割合が全体の90%と高く、9月中旬から園に飛来すると思われる。

(4) 9月上旬の本所管内でのカメムシによるカキ被害状況は、西村早生0.4%で前年よりやや少なく、H20年より少なかった。（前年：1.5%、H20年18.1%）（表2）

富有は、0.3%で前年並、H20より少なかった。（前年0.1%、H20年1.3%）

5 防除上注意すべき事項

- (1) 飛来時期や飛来量は地域によって差が大きいので、こまめに園を見回り、飛来が認められたら防除を行う。
- (2) チャバネアオカメムシは広範囲に移動するため、広域一斉防除が有効である。
- (3) 農薬散布に当たっては、樹種によって使用できる薬剤が異なるので、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

図1 県下6地点の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

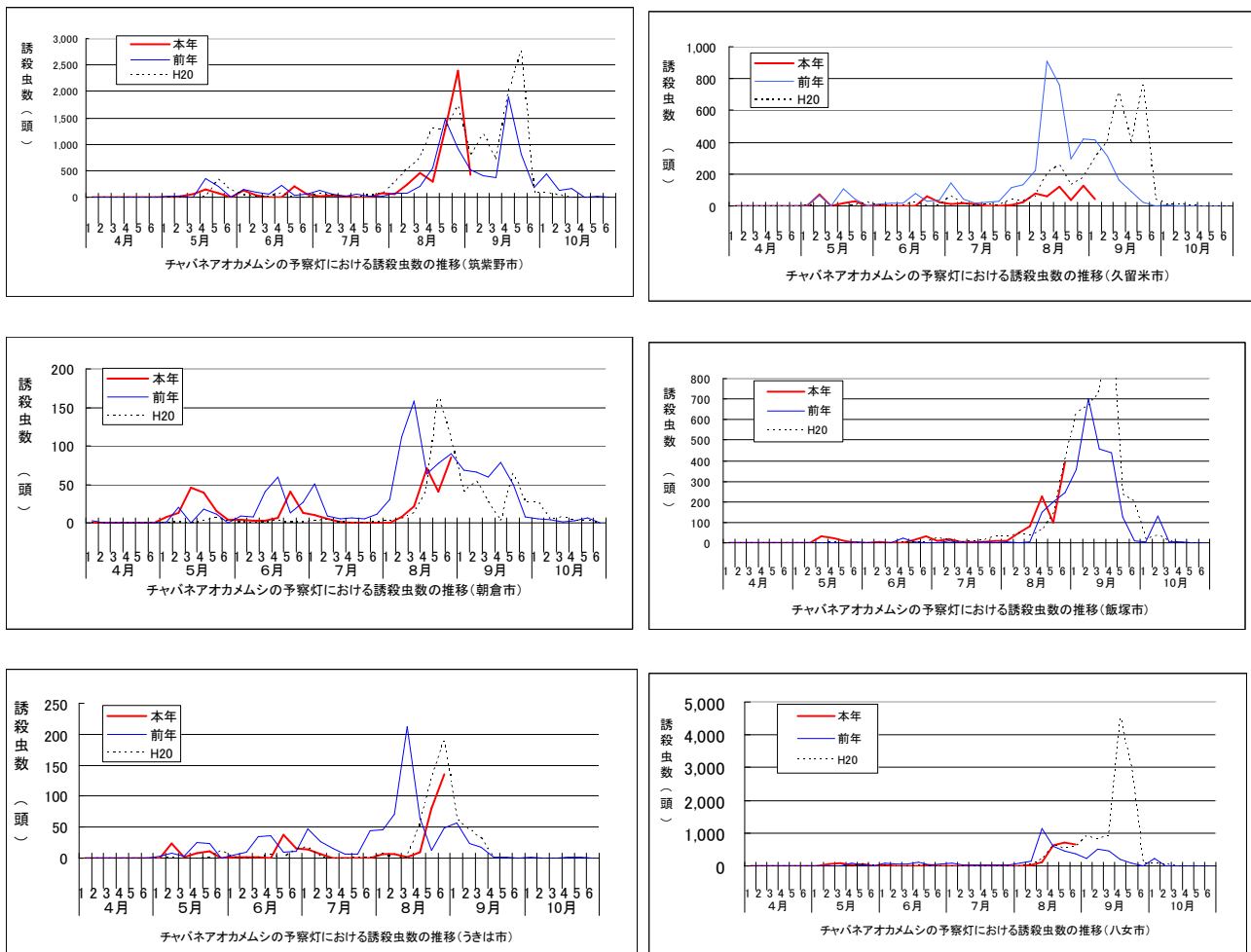


図2 ヒノキ球果口針鞘数推移 (本所及び筑後支所のみ)

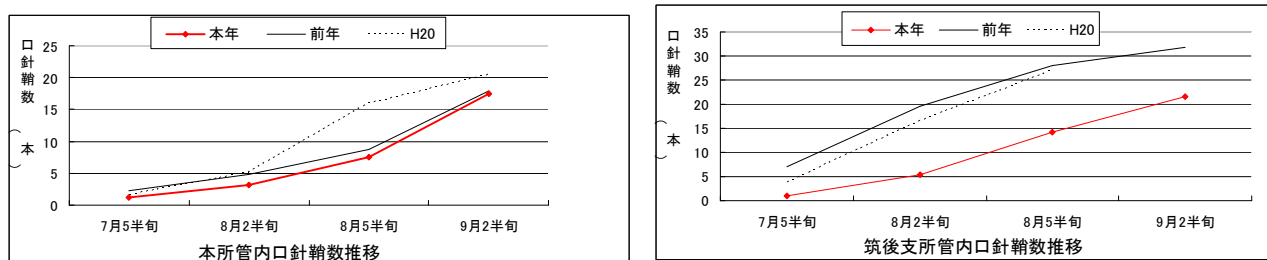


表1 ヒノキ球果の口針鞘数及びビーティング調査による果樹カメムシの虫数（9月2半旬調査）

調査場所	口針鞘数調査		ビーティング調査（頭）								
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								
	被害球果率（%）	口針鞘数（本）	成虫数	幼虫数						計	
				1令	2令	3令	4令	5令	計		
本所管内	宗像市山田	100	16.5	20	0	0	0	0	2	2	22
	糸島前原	100	17.6	30	0	1	0	0	0	1	31
	古賀市青柳	100	16.5	2	0	0	0	0	0	0	2
	久留米市田主丸町益生田	100	22.2	4	0	0	0	0	1	1	5
	久留米市田主丸町森部	100	20.5	28	0	0	0	1	2	3	31
	うきは市浮羽町小塩	100	14.3	23	0	0	0	0	0	0	23
	朝倉市長谷山	100	18.1	157	0	1	1	0	0	2	159
	朝倉市柿原	100	13.2	3	0	0	0	2	11	13	16
	朝倉市屋形原	100	21.0	11	0	1	7	6	10	24	35
	朝倉市宮野	100	19.3	11	0	0	0	0	0	0	11
	朝倉市三奈木	95	3.7	1	0	0	0	0	0	0	1
	朝倉市志波	90	10.8	15	0	0	0	0	0	0	15
	筑紫野市吉木	100	33.7	21	0	2	3	4	3	12	33
平均（13か所）	98.8	17.5	25.1	0.0	0.4	0.8	1.0	2.2	4.5	29.5	
筑後支所管内	大牟田市上内	100	26.2	5	0	0	0	1	0	1	6
	みやま市山川町立山	100	16.2	2	0	0	0	0	0	0	2
	八女市立花町白木	100	19.3	9	0	0	0	1	0	1	10
	八女市立花町飛形山	100	21.4	11	0	0	1	0	0	1	12
	八女市黒木町野田山	100	21.7	1	0	1	0	0	1	2	3
	八女市黒木町今	100	16.2	14	0	0	0	0	0	0	14
	八女市黒木町本分	100	26.0	9	0	0	1	2	0	3	12
	広川町梯	100	22.2	8	0	0	1	2	1	4	12
	八女市宅間田	100	25.1	17	0	0	0	0	0	0	17
平均（9か所）	100	21.6	8.4	0	0	0.3	1	0.2	1.3	9.8	
行橋支所管内	岡垣町上畑	100	14.95	21	0	3	1	1	1	6	27
	岡垣町戸切	95	10.35	5	0	0	1	0	2	3	8
	みやこ町犀川町木山	95	6.9	8	2	2	3	4	0	11	19
	上毛町唐原	85	2.8	15	0	0	1	3	0	4	19
	築上町寒田	75	12.85	1	0	0	1	0	0	1	2
	築上町本庄	100	21.7	3	0	0	0	0	1	1	4
平均（6か所）	91.7	11.6	8.8	0	0.8	1.2	1	0.7	4.3	13.2	
平均（28か所）	97.6	16.9	16.1	0	0.3	0.7	0.9	1.2	3.1	19.2	
H22	91.8	19.4	2.5	0	0.1	0.4	0.3	0.8	2	4.1	
H21	100	13.0	0.8	0	0.5	0.3	0.2	0.0	1.0	1.8	
H20	96.9	17.1	9.4	0	0	0.7	1.0	1.7	3.4	12.8	
H19	100	23.4	1.0	0	0.3	0	0.7	0.8	1.8	2.8	

注1 口針鞘数調査は1地点当たり20球果、口針鞘数は20球果の平均

注2 ビーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落として、その合計虫数

注3 チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏期の温度では約30～40日

表2 果樹カメムシによるカキの被害状況（9月2半旬調査）

西村早生

調査地点	被害果率（%）	
朝倉市	屋形原	0
	烏巢院	0
	須川	0
	山田	0
	杷木志波	0
久留米市	古賀	0
	山本町	0
うきは市	田主丸	1.2
	吉井町福益	0.2
吉井町屋部	吉井町福益	0.2
	吉井町屋部	3.0
本年平均	-	0.4
前年	-	1.5
平成20年	-	18.1

富有

調査地点	被害果率（%）	
朝倉市	堤	0
	烏巢院	0
	山田	0
	杷木志波	0
飯塚	入水	0
	吉井町福益	1.0
うきは市	鷹取	0
	流川	1.0
	耳納	0
	田主丸	1.0
本年平均	-	0.3
前年	-	0.1
平成20年	-	1.3